

「大人の条件」

スイッチ ON!! ワクワクお元気様です!!! 12月9日の第二回介護甲子園チケット販売開始しました。

(社)日本介護協会 理事長として日々たくさんの人とお会いして成長させてもらっております。今回は前回の三倍を上回る455事業所がエントリー! また、福岡でも介護甲子園をモデルに「ふくおか介護グランプリ 2012」が11月11日の介護の日で開催されます。ぜひ、介護甲子園の観戦きてください! また、当日のボランティアさんも募集しております。壇上事業所さんのリハーサルでのアウトプットから、当日のアウトプットの変化がとって勉強になります。本社、森市さんまでお声かけてください。

さて、先月の頭の中でリッツカールトンの高野氏の「大人の条件」の話しをしました。

「大人の条件」

1. どれだけ周りを笑わせているか? 楽しませているか?
2. どれだけ周りの人を立てているか?
3. どれだけ人を育てたか? (子供、地域、会社、関係業者)
4. どれだけ人に伝えたか? (知識、情報、技術)

人は楽しい場所に多くの人が集まります。

周りに多くの人がいるという人は、周りを楽しませている人であり、**笑わせている人**なのかもしれません。笑わせるというのは、その人の周りに笑顔が絶えないということです。

医学的にも笑いというのは、免疫力を向上させる大切な要素の一つであると科学的にも立証されています。楽しい場を作り、笑いを生み出す人が大人としての条件であるという事に納得しました。

人を立てるという事。これは自分の根底に自信がないとできません。

常にだれかよりも少しでも上に立ちたい。優位な立場でありたいと願っていると、なかなか人を立てることはできないそうです。

人を立てれないという事は、その人よりも自分が劣っているかもしれないという劣等感があるからです。一番いいのは陰褒めです。

あなたが、その人がいないときにその人のいい噂をどれだけ立てられるのか?

陰褒めされた人が全然違う人から、あなたがその人を褒めていた事を聴くとどう感じるでしょうか?

間違いなく好印象を与え、あなたの事を大切に感じます。

そして、陰褒めは、褒めた人も褒められた人も、それを聴いていた人もみんな好印象になりますよね。

それとは逆に陰口という言葉があります。

陰口は、相手を立てるところか落としてしまいます。

相手を落とすだけではなく、一番落としているのは陰口をしている自分自身です。

周りで聴いている人も、もちろんいい気はしませんし、この人はどこでもこういう陰口を叩いているのでは? という思考が頭に浮かび、その人と距離を置く人が増えていきます。結局陰口をする人の周りには、人がいなくなってしまうのです。何よりあなた自身が陰口を使わないようにしましょう。それが大人です!

人を育てるというのも大人の条件に入っていました。

人から何かを学ぶ。自分のことを一生懸命にやる。自分を伸ばしてもらおう。

これらはとっても大切なことです。

しかし、ずっとこの意識レベルではいつまでたっても成長しないのも確かです。

人に何かを伝えよう。人のやる気を引き出そう。人を伸ばしていこう。

こう感じた際に一番成長できるものです。

常に人を育てる意識で、何かを見たり、学んだり、吸収しようとするれば多くの物を貴方は手に入れることができるはず。そこで重要になるのが、最後の伝えるという事です。伝えるためにも能力が必要となります。

伝えたくても、伝わってなければ、伝えたことにはなりません。

子供の頃に多くの大人達に、私達は様々なことを学ばせて頂き、大人になっています。

自分は学んでいるのに、自分はそれを伝えないというのは大人としての行動ではないですよね。

多くの人から受けた恩を、自分の後輩や次世代に伝えていくのはとても重要な事だと思っています。

今、私は介護の志事をさせて頂いていますが、この志事も多くの諸先輩方の努力があり、今の時代でも生業として残っているものです。

その意思を引き継がせて頂いている以上、必ず後世に残していくのも、今この生業をさせて頂いている私達の使命であると感じています。

あなたは大人の条件を全て満たしているでしょうか?

もし、この部分が足りない・・・と感じている人がいらっしやったら、是非この4つは満たしていけるように意識しましょう。少し意識をすればどれもできることだと思います。

もちろん私自身も意識していきたいと思っています。